

平成13年度 景観形成作物栽培事業

真冬を彩る

# 葉牡丹の苗

## 差し上げます。

無料です



丸葉 赤・白

ちりめん 赤・白

場 所：高久郵便局南側（定田 157 番地）

配布日：11月23、24日

午前8時より10時まで

自宅の庭に！ ガーデニングに！ 施設周辺に！

（掘り取り・運搬等は各自実施してください。入れ物、シャベル持参の事）

中山間地域等直接支払下高久部会

中山間地域等直接支払下高久部会

## 景観形成作物「葉牡丹」栽培事業実施要項

### 第1 趣旨

中山間地域等直接支払交付金が広く下高久地区民の理解を得て、当地区の農用地の持つ国土の保全、水源の涵養、良好な景観の形成等の多面的機能を確保してゆくという交付金の目的を達成するために、下高久地区の放棄されている農用地を復旧活用し、景観形成作物の一つとして「葉牡丹」を栽培し対象農用地を管理するとともに、併せて成品を地域住民に還元し農村地域の景観保全に資する。

### 第2 実施主体

中山間地域等直接支払下高久部会

### 第3 協賛団体

高久環境緑化クラブ（大友竹博会長・会員数26名）

すみれの会（松井幸子代表・会員数8名）

JAいわき市女性部高久支部（小野静子支部長・会員数18名）

JAいわき市青年連盟高久支部（田仲久人支部長・会員数28名）

### 第4 事業の対象地

栽 培 地	地目	面 積 <sup>m<sup>2</sup></sup>	所 有 者
下高久 字 定田157番地	畑	1,757	鈴木 重教



栽培実面積     26 m   ×   55 m   ÷   1,500 m<sup>2</sup>

## 第5 事業の内容

### ① 「葉牡丹」栽培上の特性

ヨーロッパ原産で、キャベツと同属のアブラナ科植物で、古くから観賞用として栽培され、性質もキャベツに似るが結球性はない。多年草であるが、わが国では夏まき1年草扱いする。冬の花の少ない時期の観賞用として需要が多い。葉は白、桃、紅などに着色し、形も丸葉、ちりめん、切れ込みの深いものがある。花壇用、切花用とでは品種・栽培法も異なる。花壇用は株張りを大きくし、切花用は茎を伸ばす。近年ガーデニング用に矮化剤を使用しミニチュアにする栽培法もある。

土壌条件としては、あまり肥沃でない植壤土、砂壤土が適している。

### ② 品種と作型

#### ■ 葉牡丹栽培暦

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
						播 仮	定			配	
《鑑賞期間》						種 植	植			布	
■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■						▼…△……………	☒……………			■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■	

**品種 東京丸葉系** キャベツに似て葉のふちは波にならない。強健。F1 紅(白、桃)たか2号。

**名古屋ちりめん系** 葉に縮れがある。紅鯰、白鯰、初陽、初雪、小町など。

**大阪丸葉系** 葉縁にウェーブがある。

**さんご系** 切れ込みが深い。白さんご、紅さんごなど。

**育苗** 在来種は7月下旬、F1種は8月上旬に播く。移植育苗では、1㎡あたり約5<sup>3</sup>/<sub>9</sub>の種子量でよいが、立ち枯れ病の危険もあるのでやや多めに用意したい。(種子代に比べると市販の無菌の園芸培土を利用したほうがはるかに安上がりである。スーパー子床等。) 播き方はばら撒き、あるいは6cm間隔のすじまきとするが、できるだけ薄まきとする。本葉2～3枚で15cm×15cm間隔に移植する。

**定植** 8月下～9月上旬に、花壇用は30×30cmくらいの間隔で定植する。11～12月に色付いてきたら花壇に定植する。定植にあまり窒素肥料を施すと発色しにくいので与えない。

**病虫害防除** 栽培中はコナガ・アオムシ・ヨトウムシなどの虫害防除が重要な作業となる。マラソン・ハクサップ・オルトラン・ランネート等でこまめに防除する。

### ③作業計画および概算費用

栽 培 地	面積 m <sup>2</sup>	品 目	要 員	費 用	備 考
下高久 字 定田 157	1,757	葉ボタン	下 記	347,246	実面積 1,500 m <sup>2</sup>

- ・ 上記畑で栽培養成後、一部を残し協定者住民に配布する。
- ・ 育苗管理を関係団体に委託する。

関係団体 高久農青連

- ・ 定植作業を関係団体に委託する。

関係団体 高久農青連/JA女性部/高久環境緑化クラブ/すみれの会

(成品は地域環境美化のため、上記団体活動に利用してもらう。その後住民配布。)

作業種	期 日	要員 人	単 価	費 用	実施団体
播 種	7月29日	5	播種作業	10,000	高久農青連 (種子及び材料は 部会で購入する)
			種子 丸葉(白)30 cc 12,600		
			丸葉(赤)30 cc 12,600		
			ちりめん(白)30 cc 12,600		
			ちりめん(赤)30 cc 12,600	50,400	
			播種用土 10 袋 9,000	9,000	
(管 理)	14 日間		1 日あたり(水道代込) 500	7,000	
土入れ	8月 4日	15	労賃 1 日あたり @5,000×15	75,000	高久農青連 (種子及び材料は 部会で購入する)
仮 植	8月12日 ～ 15日		諸材料 床土 2 t 8,000 堆肥 2 t 10,000 肥料 1,500 ポリポット 借用 地代 10,000	29,500	
(管 理)	28 日間		1 日あたり(水道代込) 1,000	28,000	
定 植 (各団体による共同作業)	9月 日 (半日)	30	労賃 半日あたり @2,500×30	75,000	
			トラック借上げ@5,000×2	10,000	
その他 耕 起 肥料代 散布代 中耕培土 草 刈 雑 費			10 畝 @5,800×1,500 m <sup>2</sup> ×2 回 @1,500×10 袋 @900×1,500 m <sup>2</sup> 2 回実施	17,400 15,000 1,350 20,000 3,000 16,596	環境緑化クラブ 5名 すみれの会 3名 JA女性部 3名 農青連 6名 中山間役員 13名
合 計				367,246	

## ⑦ 播 種

使用品種	東京丸葉系	F1 紅帆（第一園芸）30 ㍓
		F1 白帆（第一園芸）30 ㍓
	名古屋ちりめん系	F1 紅すずめ（タキイ種苗）30 ㍓
		F1 白すずめ（タキイ種苗）30 ㍓
計		120 ㍓（約 12,000 粒）

播種日 7月29日 担当 高久農青連

用 土 スーパー子床（クレハ）

播種方法 水稻用育苗箱に園芸培土を入れ、十分に灌水後 6 cm 間隔に 10 本の筋をつけ、1 筋あたり 1 cm 間隔に 30 粒は種する。1 箱あたり 300 粒の播種量となる。播種後約 5 ㍓程度覆土し灌水はしない。雨の当たらない平らな場所に並べ、新聞紙で覆いさらに地温低下のため黒寒冷紗をかける。発芽直前に新聞紙と寒冷紗を取り除き十分な日光をあてる。全体で約 40 枚の育苗箱管理となる。

## ⑧ 鉢上げ準備

作業日 8月4日（土） 担当 高久農青連

ポリポット土入れ ポリポット（10 × 5 cm）10,000 個に用土を入れ、ハウス内に並べておく。12 ㍓ × 835 列で約 70 m となる。約 1 ヶ月の育苗で定植となるので、ポットの下に黒マルチを敷きポット穴からの発根を阻止した方が、生育が揃う。

用 土 原土（山土）に同量のもみさらに鶏糞を混ぜ発酵させたもの及び化成肥料を混ぜ、十分になじませておく。滞水のない水はけの良好なものが良い。

## ⑨ 仮 植（鉢上げ）

作業日 8月12日（日）～ 担当 高久農青連、田仲久人

鉢上げ 準備しておいたポットに十分に灌水後、1 鉢 1 本あて根を切らさない様丁寧に植え付ける。葉ボタンはどこからでも発根するので、茎が長い場合深植えしてもさしつかえない。仮植後一時萎れる場合があるが、根さえしっかりついていれば翌日には回復する。徒長苗の場合茎が曲がったままとなることがあるので、しっかりした苗と適期の移植が重要となる。

## ⑩ 圃場準備

作業日 9月 2日 担当 高久農青連

作 土 肥料（10 ㍓あたり 14-14-14 を 5 袋、N・P・K 各 14 kg）を散布後、耕起しておく。管理機にて畝幅 60 cm・畝間 45 cm に畝立てする。放棄復旧畑なので雑草の繁茂する危険性があり、中耕培土が必要となるので畝高さは低めの 15 cm 程度とする。

## ⑪ 定 植

定植床に 30 cm × 25 cm に定植する。乾燥がひどい場合は定植後灌水する必要がある。圃場全体で、1 畝あたり 2 条植え 440 本とし、24 畝合計 10,560 本の定植数となる。

る。中央大通路を設け2畝減とし、さらに郵便局駐車場分15坪360本減の9,320本の実定植数となる。

協賛各団体との共同作業とする。

- ㊦ 管理作業 中耕培土、病害虫防除等は中山間下高久部会役員および高久農青連が実施する。  
\*なお、中耕培土は実施するものの、雑草の繁茂がひどい場合除草作業を依頼することもある。

② 協力人数について

定植日	作業時間	作業人員	備考
9月9日(日)	午前8時～12時	30名	

各団体協力者数

団体名	要請人員	参加者数
高久環境緑化クラブ	5名	5
すみれの会	3名	3
J A女性部	3名	3
J A農青連	6名	6
中山間下高久部会役員	13名	9

③ 費用支払について

本事業に係る費用は、全て中山間地域等直接支払下高久部会景観作物栽培事業費より支出する。

一般作業労賃は1日あたり5千円となっているので、半日では@2,500円となる。  
(なお、支払は3月期末となる。)

④ その他